

最終更新日：2024年9月5日

登録講習機関：株式会社日本建設情報センター



工作物石綿事前調査者講習

募集要項（受講の手引き）

石綿による健康障害の予防対策の推進を図るため、平成17年に石綿障害予防規則が制定されました。その後、石綿障害予防規則の改正により、工作物の解体又は改修の作業を行うときには、対象工作物等の石綿使用有無についても事前調査を行うことが必要となりました。また令和8年1月1日以降は「工作物石綿事前調査者」として厚生労働大臣が定める規定を修了した者等しか事前調査を行えなくなります。

株式会社日本建設情報センター（以下、当センター）が行う工作物石綿事前調査者講習会（以下、本講習）は、平成30年厚生労働省/国土交通省/環境省/告示第一号（以後、改定あり）に基づき、工作物における石綿含有建材の使用実態を的確かつ効率的に把握するため、工作物石綿事前調査者講習の登録に関し必要な事項を定め、公正に正確な調査を行うことができる者を育成することを目指すものです。

1. 受講資格

本講習会を受講するためには、下表①～⑪いずれかの条件を満たす必要があります。

区分	学歴や規定された条件等	工作物に関する 実務経験年数
①	石綿作業主任者技能講習を修了した者 (労働安全衛生法別表第 18 第 23 号)	—
②	下記条件を満たした上で大学 (短期大学は除く) を卒業 ※: 工学に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めていること	卒業後に 2 年以上
③	下記条件を満たした上で短期大学を卒業 (学校教育法による専門職大学の前期課程にあつては、修了した者) ※: 工学に関する正規の課程又はこれに相当する課程 (夜間において授業を行うものは除く。)を修めていること ※: 修業年限が 3 年の場合は、同法による専門職大学 3 年の前期課程を含む	卒業後に 3 年以上
④	上記③を除き下記条件を満たし短期大学を卒業 (学校教育法による専門職大学の前期課程にあつては、修了した者) ※: 工学に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めていること	卒業後に 4 年以上
⑤	下記条件を満たした上で高等学校又は中等教育学校を卒業 ※: 工学に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めていること	卒業後に 7 年以上
⑥	学歴・経験等の規定なし	11 年以上
⑦	・ 特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者 ※: 労働安全衛生法等の一部を改正する法律(平成 17 年法律第 108 号)による改正前の労働安全衛生法別表第 18 第 22 号 ・ 作業環境測定士 ※: 作業環境測定法 (昭和 50 年法律 28 号) 第二条第五号・第六号に規定する第一種作業環境測定士及び第二種作業環境測定士をいう。	5 年以上 ※工作物石綿事前 調査に関する経験 が対象
⑧	建築行政に関して 2 年以上の実務の経験を有する者 ※石綿の飛散の防止に関するものに限る。	2 年以上
⑨	環境行政に関して 2 年以上の実務の経験を有する者 ※石綿の飛散の防止に関するものに限る。	2 年以上
⑩	産業安全専門官若しくは労働衛生専門官のいずれかに該当する者であったこと (労働安全衛生法第 93 条 1 項)	—
⑪	労働基準監督官として 2 年間以上職務に従事した経験	—

2. 各種提出種類・顔写真について

(1) 各種提出書類について

受験区分によって、準備する書類が異なります。必要な書類について下表でご確認ください。

区分	顔写真	住民票	受講申込書		その他必要書類
			様式 1	様式 2	
①	○	○	○	—	・石綿作業主任者技能講習修了証明書コピー
②	○	○	○	○	・対象学校の卒業証明書 ・上記学校の履修科目証明書
③	○	○	○	○	
④	○	○	○	○	
⑤	○	○	○	○	
⑥	○	○	○	○	※特になし
⑦	○	○	○	—	・申請する資格の証明書類コピー ・工作物石綿事前調査に関する職務経歴書
⑧	○	○	○	—	・行政機関職務経歴証明書
⑨	○	○	○	—	・行政機関職務経歴証明書
⑩	○	○	○	—	・人事発令通知書の写し又は経歴証明書
⑪	○	○	○	—	・該当職務の経歴証明書

※各種証明書は、裏面がある場合は裏面の写しもお送りください。

※対象区分の詳細については前のページをご確認ください。

※受講区分②～⑥で申請される方で**会社代表者**の方の場合は別途、経験を有する事を証明するための書類提出が必要となります(建設業許可証の写し・工事請負書の写しなど)。

(2) 顔写真の準備について

申込時に提出した写真が修了証明書に印刷されますので、

本人確認のしやすい鮮明な写真を提出してください。あとから写真の変更は出来ません。

- ・顔写真のサイズは、縦 4.0 cm×横 3.0 cm
- ・無背景、脱帽、アクセサリ等は外した状態
- ・6 ヶ月以内に撮影されたカラーでフチなしのもの
- ・写真店等で撮影された明るさやコントラストが適切で鮮明なもの
- ・データで提出する場合は、jpg/jpeg/png のいずれかの形式とする。

(推奨サイズは、縦 560 ピクセル、横 420 ピクセルで縦横比 4×3 で 1MB 以内です)

※当センターにて支障ありと判定した場合、規定の証明写真を再提出していただくか、受講できない場合があります。

4. 受講申込書（様式1）の記入例

下記を参考にしながら受講申込書（様式1）をご記入ください。

必ず を入れてください

当センターの審査で使用する欄のため記入禁止

審査担当者記入欄（申込者は記入しないでください）

1	2	経験年数
---	---	------

工作物石綿事前調査者講習 受講申込書（様式1）

私は、当講習会の申込みを行うにあたり受講申込書（様式1・様式2）が事実であることを誓約します。
※上記内容に同意をいただけましたら□に✓を入れてください。✓の記載がない場合、受理することはできません。

○受講審査のために必要な情報となりますので、必要事項を必ず全てご入力ください。

申込希望講習会

種別	<input type="checkbox"/> 工作物石綿事前調査者講習会	開催エリア	
		開催日程	月・日

受講資格の申請情報

該当区分番号	合計実務経験年数	年 月
--------	----------	-----

申込者情報

フリガナ				顔写真貼付け欄 縦4cm×横3cm ※写真の裏に、名前をご記入ください 写真撮影日：令和 年 月	
氏名					
生年月日	<input type="checkbox"/> 昭和	年	月		日
	<input type="checkbox"/> 平成				
年齢	満	歳	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
自宅住所				建物名・部屋番号	
連絡先	携帯番号	-	-	<input type="checkbox"/> なし	
	自宅番号	-	-	<input type="checkbox"/> なし	
メールアドレス				@	
勤務先名				部署名	

修了証の送付希望先（教材は当日のお渡しとなります）

送付希望先	<input type="checkbox"/> 上記自宅住所	<input type="checkbox"/> その他	<small>※上記自宅住所以外に✓を入れた方のみご入力ください</small>
	<input type="checkbox"/> 会社（勤務先）	送付先名（会社名）	
送付先住所	〒 - - 建物名・部屋番号		
送付先部署	送付先宛名		

記入日：令和 年 月 日

※受験区分○○の方は、受講申込書（様式2）のご準備が完了しないようご注意ください。

・写真撮影日（月まで）
 ・当用紙の記入日（日付）
 を必ずご記入ください。

受講を希望する講習会の情報をご記入ください

P. 2を確認して、該当する番号をご記入ください。


「様式2」に記載する実務経験年数と同じ年数をご記入ください。

氏名・生年月日・自宅住所は身分証の記載どおりに記入してください。

連絡先・メールアドレスも必ず記入してください。
※連絡先はどちらか一方でも可

現在の勤務先・部署名をご記入ください。

上記自宅住所以外に、修了証の送付希望先がある場合はご記入ください。
※送付先が会社等の場合は、送付先名も必ずご入力ください。



5. 受講申込書（様式2）の記入例

当ページの記入例を参考にして、必要箇所記入漏れがないようご注意ください。

※実務経験記入欄の詳細については、次ページの記載内容もご確認ください。

当センターの審査で使用する欄のため記入禁止

審査項目1：		審査項目2：		
A：		B：		
工作物事前調査講習 受講申込書（様式2）				
○基本情報記入欄（受講審査のために必要な情報となり、下記項目全てをご記入ください。）		受験資格区分番号		
氏名	中連絡先	受講コース	区分	
各項目	最終学歴をご記入ください	添付書類		
学校名		<input type="checkbox"/> 住民票		
学部・学科名		<input type="checkbox"/> 卒業証明書		
入学年月	年 月	<input type="checkbox"/> 履修科目証明書		
卒業年月	年 月	<input type="checkbox"/> （代筆者自らが受講する場合）経験を証明する書類（※）		
○石綿事前調査に係る実務経験記入欄（受講の手引きのP.8を参考にして、該当する工事・携わった立場をご記入ください）				
勤務先名	所在地（番地まで）	主たる経験種別 携わった立場	経験した期間	実務経験年数
株式会社〇〇	神奈川県〇〇市〇〇区△-△△-△△	①・⑮	△△年〇月 ~ △△年〇月	〇年〇カ月
△△株式会社	東京都〇〇区〇〇△△-△△-△△	⑮	△△年〇月 ~ △△年〇月	〇年〇カ月
			～	
			～	
			～	
合計実務経験年数				〇年 〇カ月
○証明者欄（当用紙の記載内容に相違がないことを証明します）				記入年月日： 年 月 日
会社名	住所	部署・役職名	署名・捺印欄	印

日中連絡先は、日中に連絡が取れる携帯電話等の番号をご記入してください

受講の手引き P. 2 を確認して、該当する番号をご記入ください。

受験資格区分番号②～⑤で、お申込みされる方には必須項目ですので必ずご記入ください

ご自身の申請に必要な書類名に✓を入れてください。

ご自身の経験に主に該当するものを番号でご記入ください。番号の詳細については次ページでご確認ください。

会社代表者の場合、ご自身で証明した上で下記いずれかの書類を別途、ご提出してください。
 ・工事請負書（建設工事に関する内容）
 ・建設業許可証等経験を証明できる書類



※当用紙へ記載する際は、記入漏れに注意しながらご記入ください。
 ※会社の代表者の方は、必ずご自身で証明した上で、経験を証明する書類を別途、ご提出ください。
 ※当用紙の他に、受講申込書（様式1）と添付書類（基本情報記入欄）複数社での経験がある場合も、現職の署名のみで結構です。
 ☆：代表者自身が受講する場合は、書類とは、工事請負書または捺印を必ずもってください。（電子捺印可）

6. 受講申込書（様式2）「実務経験記入欄」の記入例

「実務経験記入欄」は受講審査において最も重要ともいえる項目となるため、当ページの記入例を参考に記入ミスにご注意ください。

○石綿事前調査に係る実務経験記入欄（受講の手引きのP.8を参考に、該当する工事・携わった立場をご記入ください）

勤務先名	所在地（番地まで）	主な経験種別	携わった立場	経験した期間	実務経験年数
株式会社〇〇	神奈川県〇〇市〇〇区△△-△△-△△	①・⑮	②	△△年〇月 ~ △△年〇月	〇年〇カ月
△△株式会社	東京都〇〇区〇〇△△-△△-△△	⑮	③	△△年〇月 ~ △△年〇月	〇年〇カ月
				~	
				~	
				~	
合計実務経験年数					〇年 〇カ月

○勤務先名：実務経験を積んだ勤務先名を正確にご記入ください。

※記載する企業で実務経験を積んだ際と現在の社名が変更になっている場合は、ご自身が在籍していた際の社名でご記入ください。

○所在地：番地まで正確にご記入ください。 ※建物名がスペース内に記入しきれない場合は階数（部屋番号）のみで結構です。

○主な経験種別：下記①～⑳の中から主に当てはまる種別を選択して記入してください。

- ① 1.建築一式工事、②大工工事、③左官工事、④とび・土木・コンクリート工事、⑤石工事、⑥屋根工事、⑦電気工事、⑧管工事、⑨タイル・れんが・ブロック工事、⑩鋼構造物工事、⑪鉄筋工事、⑫舗装工事、⑬板金工事、⑭塗装工事、⑮防水工事
- ⑯内装仕上工事、⑰機械器具設置工事、⑱熱絶縁工事、⑲電気通信工事、⑳建具工事、㉑水道施設工事、㉒消防施設工事、㉓解体工事

○携わった立場：下記①～④の中から携わった立場を選択してご記入ください。

- ①施工係員、②施工管理・監督、③設計監理、④調査員

○経験した期間・年数：経験した期間とその年数、また最後に実務経験の合計年数をご記入ください。